

令和4年度事業報告書

(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

実施事業

○こども宅食事業

京都こども宅食プロジェクトは、令和3年度に引き続き新型コロナウイルス感染症の感染拡大の中「アウトリーチ型」の支援だからこそ安定した支援ができました。

ボランティアを募って行う梱包作業は自粛ムードの中開催ができない時でも大手ネットスーパーと連携をして商品の準備を行いご寄付でいただいた商品なども織り交ぜて届けることができました。

また、新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況と社会情勢を見ながら利用者様との対面イベントを実施することができました。「届ける」ことと、直接「繋がり」を持つことで、改めて利用者様の生のお声をお伺いでき、生活やご希望に寄り添ったお届けに繋げることができました。行動制限が緩和へ向かい、物品配送だけでなく様々な文化体験イベントのご提供も叶いました。肌で感じ、人と触れ合うことのできる体験をご用意することができ、利用者様からの嬉しいお声をたくさん頂戴しました。来年度、伏見区・中京区・北区に加え山科区での配送がスタートすることに向けて、京都市の協力のもと対象世帯に各小学校から応募用紙を配布していただく準備を進めました。支援の輪を広げていくことができ次への大きな1歩でした。

1 プロジェクト運営

(I) 事業の実施について

(i) 各配送の実施内容

令和3年度の配送累計回数16回と延配送世帯数2,530世帯に比べ、令和4年度は配送累計回数18回と延配送世帯数3,070世帯へ配送することができ、就学支援を受ける対象世帯へよりサポートを行うことができました。

また、伏見区の対象世帯も161世帯から232世帯へと支援の範囲を拡大することができました。

| | R4 年第 1 回配送 | R4 年第 2 回配送 | R4 年第 3 回配送 | R4 年第 4 回配送 | R4 年第 5 回配送 | R5 年第 6 回配送 |
|--------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|
| 伏見区 | 5 月 | 7 月 | 8 月 | 9 月 | 11 月 | 3 月 |
| 配送世帯 数 | 153 世帯 | 160 世帯 | 160 世帯 | 159 世帯 | 231 世帯 | 232 世帯 |
| 実施方法 (梱包) | イオン | ボランテ ィア | ボランテ ィア | ボランテ ィア | ボランテ ィア | イオン |
| 実施方法 (配送) | ココネッ ト | ココネッ ト | ココネッ ト | ココネッ ト | ココネッ ト | ココネッ ト |

| | R4 年第 1 回配送 | R4 年第 2 回配送 | R4 年第 3 回配送 | R4 年第 4 回配送 | R5 年第 5 回配送 | R5 年第 6 回配送 |
|--------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|
| 中京区 | 6 月 | 8 月 | 9 月 | 12 月 | 2 月 | 4 月 |
| 配送世帯 数 | 152 世帯 | 163 世帯 | 165 世帯 | 169 世帯 | 1 6 9 世 帯 | 1 6 5 世 帯 |
| 実施方法 (梱包) | ボランテ ィア | ボランテ ィア | ボランテ ィア | ボランテ ィア | イオン | ボランテ ィア |
| 実施方法 (配送) | ココネッ ト | ココネッ ト | ココネッ ト | ココネッ ト | ココネッ ト | ココネッ ト |

| | R4 年第 1 回配送 | R4 年第 2 回配送 | R4 年第 3 回配送 | R4 年第 4 回配送 | R4 年第 5 回配送 | R5 年第 6 回配送 |
|--------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|
| 北区 | 6 月 | 7 月 | 8 月 | 9 月 | 11 月 | 3 月 |
| 配送世帯 数 | 161 世帯 | 164 世帯 | 164 世帯 | 165 世帯 | 167 世帯 | 167 世帯 |
| 実施方法 (梱包) | イオン | ボランテ ィア | ボランテ ィア | ボランテ ィア | イオン | ボランテ ィア |
| 実施方法 (配送) | ココネッ ト | ココネッ ト | ココネッ ト | ココネッ ト | ココネッ ト | ココネッ ト |

※実施方法
ボランティアさんによる梱包
イオンさんへの委託
ココネットさんへの委託
その他

配送累計回数：18 回
延配送世帯数：3,070 世帯

(ii) 配送品内容

| | | | |
|--------|----------------------------|----------|--------------------------------|
| 主食用食品 | お米、玄米、餅米、そば、うどん、そうめん、パスタ 等 | インスタント食品 | ラーメン、焼きそば、味噌汁、スープ類 等 |
| レトルト食品 | カレー、牛丼、親子丼、麻婆丼 等 | 調味料 | 醤油、塩、砂糖、コンソメ、合わせ調味料、酒 等 |
| 缶詰 | シーチキン缶、サバの味噌煮缶、サバの水煮缶 等 | 飲料 | 野菜ジュース、ソフトドリンク、きな粉、珈琲 等 |
| お菓子類 | スナック菓子、ケーキ、京都の銘菓、ラスク 等 | 日用品 | 子ども用マスク、マスク、消毒用アルコール、洗剤 洗濯洗剤 等 |
| 文房具類 | 鉛筆、消しゴム、学習用ノート 等 | | 等 様々な商品を配送 |

その他

プロバスケットボール試合観戦特別招待券（京都ハンナリーズ様より）

今年度の配送では、京都ハンナリーズ様より体験の提供としまして、『プロバスケットボールの試合観戦ペア特別招待券（2名様分）』を同封させていただきました。観戦に行った利用者様からも嬉しいお声を頂戴いたしました。



(iii) 対面イベントについて

<子どもたちに音楽を届けるプロジェクト>

| | |
|-------|---------------|
| 開催場所 | 御所の杜ほいくえん |
| 開催日時 | 令和4年11月20日(日) |
| 参加人数 | 86組：236人 |
| 対象行政区 | 中京区・北区 |

活動目的・背景

今回のイベントは「京都こども宅食プロジェクト」と「100万人のクラシックライブ」による子どもたちへの文化体験・子どもたちへの食品や物品のご提供を目的に行います。京都こども宅食プロジェクトでは、子どもたちへの食品や日用品のご提供は勿論のこと、直に参加していろいろな文化を知り、体験する機会のご提供も目指しております。この度、ご企画くださいました「100万人のクラシックライブ」の皆さまも「心がおどる”そんな生の音色にときめく『場』を増やしたい」「感動を分かち合い、地域が繋がり、笑顔の輪を広げたい」という思いから全国各地でコンサートを開催されています。子どもたちにとってこの時間が、何かの「きっかけ」や「感動」となりますことを願って開催いたします。

1. 参加者

京都こども宅食プロジェクト利用者様、京都こども宅食にご協力いただいている企業様関係者様、近隣地域の園や施設を利用するご家族様を対象として募集させていただきました、308名の方がご応募くださいました。しかしながら、昨今の情勢も重なり、残念ながらご欠席となりました方もいらっしゃいました。当日、実際にご参加いただきましたのは236名となりました。

- ・午前の部：47世帯140名【大人】72名【子ども】68名
- ・午後の部：39世帯96名【大人】50名【子ども】46名
- ・合計：86世帯236名【大人】122名【子ども】114名

2. 活動内容

2022年11月20日



京都産業大学よさこいサークルのパフォーマンス披露（5分間）、ピアノとヴァイオリンの演奏（30分間）、子どもたちとの交流（10分間）といった文化体験のご提供、子どもたちへ食品・物品のご提供。

8:30 会場設営開始

9:30 演奏家様会場入り

～会場設営・打合せ・音出し準備、着替え

11:00 ライブ1回目(30分)

11:30 質問コーナー・交流

～ 待機、休憩

13:00 ライブ2回目(30分)

13:30 質問コーナー・交流

～ 片づけ、事務局との振返り、着替え、昼食

14:30 演奏家会場発

15:15 解散

3. 企業様ご支援・ご寄贈品



食品・物品のご提供にあたりご協力いただいた企業様を記させていただきます。

- ・オーシャン貿易様ご寄贈品（ロールケーキ 150 本、カーネーション 3 本 150 セット相当）
- ・MUFG 様ご寄贈品（ボールペン 200 本、貯金箱 40 個、ファイル 120 部）
- ・森永乳業様ご寄贈品（パックジュース 320 本相当）
- ・京都産業大学様（ぬりえ 140 部、天文台イベント案内用紙 140 部）
- ・宅食保管品（アーモンド菓子、ドライフルーツ菓子、タオル他）

4. 成果

京都子ども宅食プロジェクトの利用者様からも嬉しいお言葉を頂戴しております。



日曜日の音楽会、大変ありがとうございました。
お一人おひとり様に感謝の気持ちとお礼を申し上げます。

娘は聴音過敏等の色々な発達障害がありザワザワした場所が苦手です。
演奏が始まるまではソワソワしており私は心配していました。

しかし学生さんのパワーある踊りがはじまると、とても楽しんでいました。

素敵な音楽そして支援してくださる皆さんの温かな気持ちに包まれながら
帰路に着こうとしている時に、娘の口から「音楽を習いたい」という言葉がでてきて、聞き返すほど驚きました。

不登校で引きこもり気味の娘の心に光がさしこんだ素晴らしい時間を本当にありがとございました。



いつも有り難うございます。
昨日の100万人のクラシックライブでは、娘も落ち着いて聴けて親子共に楽しめました。
なかなか間近で生演奏を聴ける機会はないので、とても心に響きました。
お土産に頂いたロールケーキは、もっちり生地で甘さも控えめで、家族みんなで美味しくいただきました。
有り難うございました。

...



ありがとうございます。

楽しみにしすぎて、間違えて今日行ってしまいました(^_^)

明日楽しみにしております。

20:33

5. 所感

子どもたちも保護者の皆さまとご家族で一緒に楽しんでいただき大盛況で終えることができました。京都産業大学よさこいサークルの方々は子どもたちとコミュニケーションを取り、ピアノやヴァイオリンの演奏に合わせて子どもたちと踊るシーンもございました。また、子どもたちがピアノを囲んで座り、鍵盤を押して広がる音色の反響や床の振動を感じて見入っておられるご様子も見受けられました。アンコールでは子どもたちに人気のアニメ『鬼滅の刃』の主題歌、『紅蓮華』をご披露いただき、会場で手拍子が湧き起こりました。会場が一体となる温かいコンサートとなりました。

6. 今後への期待、要望

是非とも今回を第一回として、毎年開催へと繋げて参りたく考えております。開催後の情報共有の場で、蓑田ご代表に【京都ならではの相応しい場所】から、「100万人のクラシックライブ」「京都こども宅食プロジェクト」の趣旨をお届けできないかとお伝え申しました。例えば来春、【祇園甲部歌舞練場】が竣工、4月には都をどり柿落とし公演を開催。印象深いタイミングの内に、国内に留まらず海外からの観光人にも知って頂く機会へと繋がりたいと考えるものです。今後も子どもたちへの文化体験のご提供を通して地域が繋がり、子どもたちを明るい未来へと導いていける、そんなイベントになっていきますことを心より願い、ご支援を是非共、宜しく願い申し上げます。

<食育を考える：粕汁を食べてクラウン・ショーを楽しむ会>

| | |
|-------|---------------|
| 開催場所 | 京都信用金庫伏見支店 |
| 開催日時 | 令和4年11月20日(日) |
| 参加人数 | 60組：180人 |
| 対象行政区 | 伏見区 |

活動目的・背景

伏見は歴史ある酒蔵の町として日本でも有名です。最近では発酵食品の人気の高まりとともに、日本酒からできる酒粕の色々な料理法が紹介されています。昔から伏見で

は、寒くなると日本酒が飲めない人でも慌てて酒粕を買い求め、粕汁を食べて季節を楽しむ情景があちらこちらで見られます。今回地域の大人たちから、そんな大切な地域の食文化を子供たちと一緒に楽しみたいという声上がり、この企画が立ち上がりました。地域の酒蔵で今年醸造された日本酒の酒粕からつくられる粕汁を食べられるのは、伏見に住んでいる人ならではです。「他の地域では味わえない素敵な時間を、ぜひ皆さんと一緒に楽しみたい」「子どもたちに伏見の地域食である「粕汁」を試食してもらい、地域の文化や暮らし、食と体の関係に関心を持ってもらいたい」の想いで開催させていただきました。

1. 参加者

宅食事務局の石田、今井、小野、京信伏見支店長、伏見支店社員、京信内京都子ども宅食PJメンバー約8-10名、京都南ロータアクトクラブ10名、京都南ロータリー3-5名のご協力のもと、約60世帯（新規登録者含む）約180人来場予想のご利用者様にご参加いただくことができました。

2. 活動内容



粕汁銀座の飲食店様にもご協力いただき、粕汁のご提供が叶いました。2階のコミュニティールームでは子どもたちにお楽しみいただけるゲームコーナーを設け、風船遊びが大変人気でした。また、2階別室にて利用者の方々へ相談会も開催させていただきました。相談員はボランティア参加、近藤有希子（内科医）塩野裕子（薬剤師）で行いました。当日のご相談記録を記録させていただきます。

・喧嘩について

子供の話をまずはよく聞く

エスカレートするようなら誰かに話を聞いてもらう。助けを求めることも大切。

・食生活について

野菜がなかなか取れない→冷凍野菜を利用したり、具だくさんスープやお味噌汁などにとると取りやすいとか、イメージとしては、色々とりどりにするように考えるとバランス取りやすいとアドバイス。晩御飯、うどんとか焼きそばになってしまう。

3. 企業様ご支援・ご寄贈品

皆様（京都南ロータリークラブ、ワケンホールディングス株式会社、北川本家、おこぶ北清、京乃四季、酒房わかば）にご協力いただき、京都南ロータリークラブ様からの寄付の食品や、焼きたてパン、和研薬様から寄付の新鮮な野菜等もお土産にお持ち帰りいただきました。

4. 成果

参加様からも嬉しいお言葉を頂戴しております。

「こんにちは。先程粕汁のイベントに参加させていただきました。子供はゲームコーナーがとても楽しかったみたいで、全部良かったけど特に風船が面白かったと言っておりました。粕汁も最高に美味しかったです。お土産も沢山素敵な物を頂けて至れり尽くせりで最高の1日になりました。今は早速パンを美味しい美味しいと横でパクパク食べております。本当に今日は色々ありがとうございました。」

5. 所感

大切な地域の食文化を子どもたちと一緒に楽しみ、大変お喜びいただけました。子どもたちはゲームコーナーで楽しいひと時をお過ごしいただき、ご相談のある親御様は相談会にもご参加くださり、ご家族で粕汁を食べて温まるという充実したイベントを開催することができました。なかなか直接お話を聞く機会は多くございませんので、我々にとっても利用者様のお声を直接お伺いできる貴重な時間となりました。

6. 今後への期待、要望

利用者様への食料品や日用品の配送は勿論のこと、今後もこのように利用者様と直接コミュニケーションのとれるイベントが開催していただけることを願っています。また、普段なかなかお送りすることのできない生鮮食品をこのようなイベントでは直接お渡しできましたことも大変嬉しいこととございました。こうした繋がりを最大限にいかしていただけるよう、このようなイベントも今後開催して参りたいと考えています。

<節分祭～奉納されたお餅のお福分け～>

| | |
|------|------------------|
| 開催場所 | 壬生寺 |
| 開催日時 | 令和5年2月5日（日）10時半～ |

| | |
|-------|------------------|
| 申込人数 | 96 組（世帯人数 335 人） |
| 対象行政区 | 北区・中京区・伏見区 |

活動目的・背景

毎年恒例で中京区にある壬生寺行われている「節分会厄除大法会」で奉納されるお餅を今年も壬生寺の方がそのお餅をご提供いただけることになり、神様にもご奉納された縁起物で今年一年「無病息災、家内安全」を皆さんにもお届けできればという気持ちで開催させていただきました。

1. 参加者

当日は職員より直接お手渡しいたしました。日にちと時間限定にて取りに来ていただける利用者様にプレゼントさせていただきました。伏見区の方は、伏見区西大手筋の「おきなや」で2月8日に受け取りをお願いいたしました。当日は15組の方がお見えにならずご連絡を取りながら、別の場所にて再度お渡しもさせていただきました。

2. 活動内容

事前にご予約いただきました利用者様へ下記の通り実施いたしました。

- ・北区詳細（ご予約要・先着20名様）

日時：2月5日（日）10時半～正午

場所：壬生寺 <http://www.mibudera.com>

※本堂向かって左側

- ・中京区詳細（ご予約要・先着30名様）

日時：2月5日（日）10時半～正午

場所：壬生寺 <http://www.mibudera.com>

※本堂向かって左側

- ・伏見区詳細（ご予約要・先着40名様）

日時：2月8日（水）10時半～13時

場所：おきな屋

<https://www.tomio-sake.co.jp/okinaya/>

〒612-8369 京都府京都市伏見区村上町 370-6

近鉄「桃山御陵前」、京阪「伏見桃山」駅下車

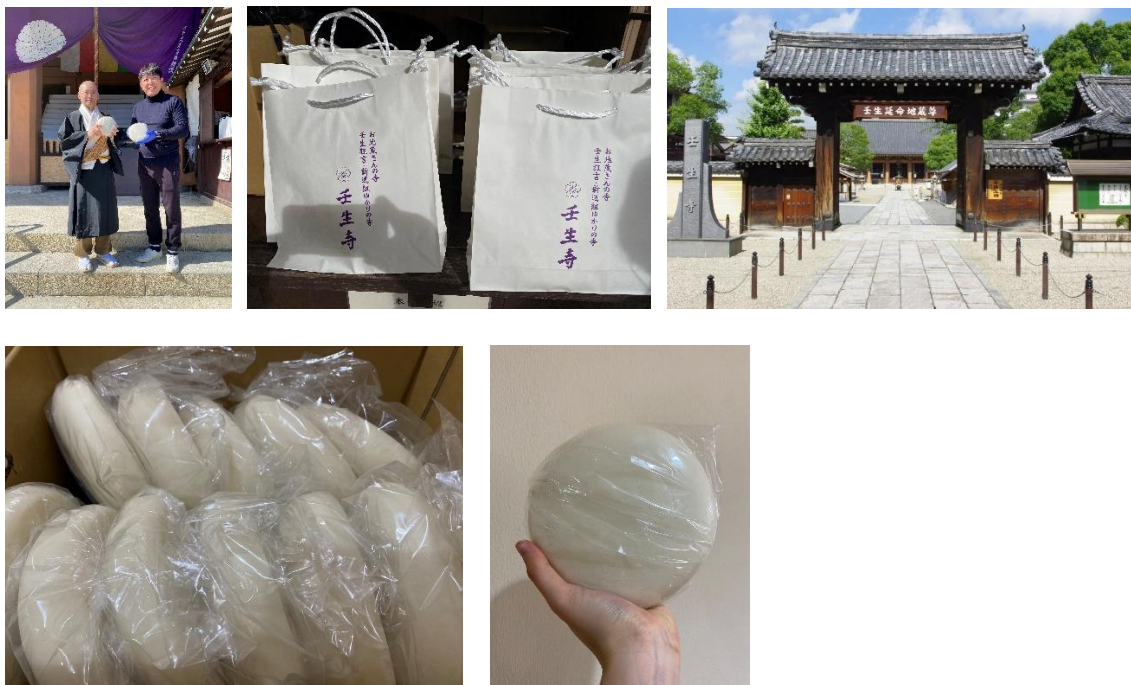
大手筋商店街アーケードを西へ抜けて約 300m

3. 企業様ご支援・ご寄贈品

「節分会厄除大法会」で奉納されるお餅を今年も壬生寺様より頂戴いたしました。

4. 成果

参加者からも嬉しいお言葉を頂戴いたしました。ご自宅で撮られたお餅のお写真とともに「ありがとうございます。無事受け取りできました！本年もよろしくお願ひします。」というお声もございました。どっしりと大きなお餅を見て、皆さんとても驚いて下さり、大切そうにお持ち帰りくださっていました。



5. 所感

今年一年の「無病息災、家内安全」を願ひご奉納された縁起物のお餅をお渡しさせていただき、大変お喜びいただけました。片手で持つにはとても大きなお餅をご家族でお楽しみいただくことができました。食料品や日用品の配送だけでなく、直接手渡しさせていただき、我々にとっても利用者様の嬉しいお声を直接お伺いできる貴重な時間となりました。

6. 今後への期待、要望

利用者様への食料品や日用品の配送は勿論のこと、今後もこのように利用者様と直接コミュニケーションのとれる食料品の手渡しの機会を設けていけることを願っています。生鮮食品や今回のような生のお餅というのは保管やお渡しの期間を十分に設けることができず、配送には不向きでございますが、こういった手渡しの機会を設けることで、ご提供できる食料品の種類の幅を広げることが可能となります。地域の方と連携しながら、より利用者様に寄り添ったご支援となれるよう今後も努めて参ります。

<優しいお金の勉強とイタリア料理を食べる会>

| | |
|------|-------------|
| 開催場所 | 京の食文化ミュージアム |
|------|-------------|

| | |
|-------|-------------------|
| 開催日時 | 令和5年3月26日（日）9時～ |
| 申込人数 | 12組（大人11人 子ども16人） |
| 対象行政区 | 北区・伏見区 |

活動目的・背景

感染症対策等の観点から小学校での調理実習の機会が減少したことを受け、料理家から子どもたちに直接お料理をお教えするという本イベントを企画させていただきました。今回は、京都のイタリア料理店ラディーチェ、根本シェフにご協力頂き、「学び、作りそして食べる」というイベントを開催いたしました。

また、なかなか学ぶ機会の少ない「お金」について、京都信用金庫様にご協力いただきお子さまにも理解していただけるやさしい内容をご用意させていただきました。これまで様々なお声をお伺いしてきたことから、見通しなく使うのではなく、改めて将来を見据えたお金の取り扱いについて知っていただきたく企画させていただきました。

1. 参加者

京都子ども宅食プロジェクト利用者様、イタリア料理の根本シェフ、京都信用金庫暮らしサポート部、京都子ども宅食プロジェクト事務局

2. 活動内容

参加者の皆様にはお金の話をお聞きいただき、お金の正しい使い方を学んでいただきました。そのお金の使い方を上手く再現した「貯金箱」をお作りいただきました。そして、普段は体験できないイタリア料理の根本シェフより3品の料理を教わっていただきました。（きのこパスタ、オムレツ、チョコブラウニー）

8:30-9:00：主催者側集合

9:25：参加者受付

9:35：開会挨拶

9:50-10:50：お金 WS

11:00-12:30：お菓子、料理作り

12:30-14:30：食事、根本シェフお話、お金 WS まとめ

15:00：利用者解散、後片付け





3. 成果

参加されたご家族より、「子どものためと思ったイベントでしたが、大人も勉強になる機会となりました。まだ大丈夫は何事も良くないですね」、「料理がとても美味しかったです。家でも作れる食材とやり方なのでまた子どもと作ってみます!」とのお声を頂きました。子どもたちも、お金の話を真剣に聞いておられ、料理を作る際はとても楽しそうで、笑顔いっぱいイベントとなりました。

4. 所感

苦手な食材がレシピの中に入っていた子も、ご自身で頑張って作ってできたお料理をお食べになられると「おいしい!」と笑顔があふれて喜んでおられました。包丁の使い方や食材の調理方法などシェフよりお教え頂き、親子で並んで学びながらお料理をしていただける機会となりました。根本シェフには、レシピのご検討段階でも「ご自宅でも揃えやすい食材で」「ご自宅でも作りやすいレシピで」とお考えいただきました。

また、食後のお金の勉強では、子どものころからお金のことについて考えて頂けるようにと企画しておりましたが、当日は保護者の方も領いて真剣に聞いて下さり、中にはメモを取ってくださっている方もおられました。お子さまだけでなく大人の方にも学んでいただける内容になったのではと思います。

5. 今後への期待、要望

近年、蔓延している新型コロナウイルスの影響が世の中で緩和され始め、体験型の支援は今後様々なことで開催したいと考えております。利用者様の皆様とのコミュニケーションを大切に今後のイベント開催に取り組みたいと思います。

○今後の展望

今夏より新たに山科区、東山区と支援対象エリアの拡大を予定しており、令和5年度より5区での実施となります。皆様のご支援により、少しずつ支援させていただける世帯数も増えてまいりました。支援対象にまだ至っていないエリアからの支援ご希望のお声も届いております。これからも支援対象エリアを拡大していけるよう職員一同精一杯努めてまいります。また、各区内で当プロジェクトの子団体を設立し『届ける』、『繋げる』を一世帯でも多く一人でも多くの方々のサポートができるよう当プロジェクトが中心となって進めてまいります。